

2025年7月15日  
株式会社ジェイテクトプレジジョンベアリング

## DX（デジタル化）取組みのお知らせ

ジェイテクトグループ方針にも掲げているデジタル化を中心としたDXについて、当社の取組み状況をお知らせいたします。今後も定期的に、情報を発信してまいります。

### 当社を取り巻く環境

軸受は小さくても大きな価値を持ち、あらゆる機械の基本構成要素となっている重要な精密部品です。

主力である自動車産業においては「100年に一度の大変革期」を迎えており、スピーディーにお客様要求に対応することが急務となっています。

この大変革期を企業の成長と捉え、デジタル技術の活用を中心にDXを推進し、ソリューションプロバイダーズへの変革および創造と挑戦で新たな価値を創出し、軸受製造の Leading Company を目指します。

### トップメッセージ

**“絆”を大切に、「人づくり」「価値づくり」「モノづくり」を通じて、社会に貢献できる商品を提供**

薄肉や高精度の軸受を既存の設備を活用し、生産および設計の技術力を最大限に活かして、付加価値の高い軸受を安価に提供すること（小さな投資で大きく稼ぐこと）が強みであり、他社を凌駕するものであります。また、軸受の特性である低トルク化や組み付け後の振れ抑制、軽量化などは、今後のカーボンニュートラル社会に必ず貢献できるものです。

当社を取り巻く環境は、予想をはるかに超えたスピードで変化しています。このような状況の中、社会の要請に応えていくためには、強みをさらに伸ばし、変化に柔軟に対応していかなければなりません。

働き手不足、関税の引き上げ、マーケットなどの環境変化に対しては、標準のシステム化やムダな業務の廃止など、DXのために重要な要素であるデジタル化をスピード上げて取組み、一日も早くデジタル人財を育てていくことで、対応できると確信しております。

現状、属人化している業務や製造履歴を管理するために膨大な資料が必要となっていることが、課題となっています。競争環境の変化に対応するため、2025年から本格的にDXに取組み、業務プロセスの変革（誰でも容易にできる業務へ）と品質管理を重視したトレーサビリティ強化を目指すとともに、スマートファクトリー化を進めることで、サプライチェーン全体の最適化を図り、お客様満足度の向上を実現し、社会に貢献していきます。

事業のパフォーマンスを最大限に引き上げ、今以上に社会により良い商品を提供し続け、新たな価値創造とさらなる成長と発展に向け、全員参加で取組んでまいります。

株式会社ジェイテクトプレジジョンベアリング  
取締役社長 木村 勉

## ■デジタルでの未来創造

～デジタル化の推進で企業価値を向上させ、明るい未来を描く～

### 「こわす」

非効率・属人的な仕事  
従来のプロセスへのこだわり  
“性善説”に頼った安心・安全意識

### 「つなぐ」

人・データ・アイデア  
社内外のデータ  
サプライチェーン（ジェイテクトグループの一人一人が『最後の砦』となる）

### 「変える」

“個人最適”、“個別標準”による人に頼った安全のしくみ



## ■デジタル化イメージ

